

# 和地ひとみレポート No.339

東大和市 市制50周年・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会

2020年は東大和市民の心に残る1年となるか



## ■10年目の節目の年

…新たな年がスタートしました。今年1年が皆様にとって良い年となりますようお祈り申し上げます。今年、新たな元号“令和”となって初めて迎えるお正月、加えて東京2020オリンピック・パラリンピックが開催される年ということもあり、メディアなどでは今年の幕開けを特別なこととして取り扱っている光景も多く目にしました。

…そのような中、私事で恐縮ですが、駅頭でこのレポートを配布し始めて、今年は10年目の節目の年となり、私個人にとっても通常より特別感のある年となっています。初当選をさせていただいた年(2011年)の1月から武蔵大和駅で開始した駅頭でのレポート配布は、2期目から東大和市駅でも配布をするようになりました。駅で出会う市民の皆様にあたたかく見守っていただき、お声がけや相談をいただくことをありがたく思いながら、あつという間の9年間でした。

…学生だった子ども達が社会人になった姿を目にするたびに時間の経過をしみじみ感じるとともに、これからの未来を背負う若者たちや子どもたちに少しでもよい東大和市にしていきたいと感じます。

…議会内でも3期目の中堅議員という立場になった今、東大和市の発展、市民の皆様との生活の充実や満足度に少しでも寄与できるよう、さらに尽力せねばとまさに身の引き締まる思いで新年を迎えました。今後も初心を忘れずに、皆様に市政の情報とともに私自身の考えをお伝えしてまいりますので、よろしく願いいたします。

## ■東大和市市制50周年

…以前のこのレポートでも取り上げたことがあります。今年、東大和市市制50周年の年です。

東大和市では、2年前の2018年3月29日に市長決裁を受け「東大和市市制50周年記念事業実施方針」が公表され、昨年(2019年)3月には「東大和市市制50周年記念事業の実施に向けた東大和市アクションプラン」も公表しています。このアクションプランには以下のような具体的な記念事業が示されています。

### ◇市制50周年事業方針

- ① 市民の皆様をはじめ様々な関係者が協働して、市制50周年を祝い、ふるさと東大和への誇りと愛着心を深める。
- ② 東大和の歩みや魅力・特長を再確認し、次世代に継承するとともに、市内外に広く発信する。
- ③ 次世代を担う子どもたちの夢や希望を育むとともに、明日の東大和につながるまちづくりの契機とする。

### ◇市制50周年記念事業

#### ①記念式典

9月26日(土) ハミングホールで実施。

市の半世紀を振り返り、次の50年を展望した「東大和市らしいまちづくり」の方向性を発進。具体的には、次世代を担う子どもたちに向けて、理念・ビジョンを示す憲章や、健康で幸せな都市の実現に向けた宣言を発表する等、市制50周年の節目にふさわしい記念式典を実施。

→市政功労者表彰式

→(仮称)東大和市子ども・子育て憲章の発表

→(仮称)東大和市健康都市宣言の発表

→アトラクションの実施(市民参加による)

→東大和市市制50周年記念冊子の発行

#### ②特別事業(3事業)

##### 【ちょこバスDAY】

記念式典の実施日9月26日に、ちょこバスを特別料金で乗車できる「ちょこバスDAY」を実施し、市内を巡ってもらい、市を知る機会を創出。

##### 【地域資料展】

市の半世紀の歩み・軌跡を振り返り、市の魅力の再確認、再発見ができるような地域資料展を実施。

##### 【メディアを活用したイベントの誘致】

市の魅力を広く内外に発信することができるように、メディアを活用し、市民の記憶に残るイベントの誘致に努める。

…上記の「記念式典」と「特別事業」以外にアクションプランに明記されている事業については、既存事業に市制50周年記念事業の冠付けを行う事業(計11事業)。これらの冠付けをする事業については、市が中心となって企画・運営を行う事業に「市制50周年記念事業」の冠付けを行うことで、そこに関わる人々の記憶に残り、市制50周年を共に祝う気運を醸成することです。また、特別事業の【メディアを活用したイベントの誘致】については、まだ、その内容は公表されていません。

…東大和市が「町」から、より自治体の権限が多くなる「市」になったのは、国主導の明治時代からの度重なる行政区の制度変更によるもの。事実、ここ近年は多摩26市の様々な市が50周年の節目を迎えており、東大和市と同じく今年50周年を迎える市は6市(福生市・狛江市・東大和市・清瀬市・東久留米市・武蔵村山市)もあります。

…私は、2018年9月の市議会定例会の一般質問で、50周年記念事業の内容について一般質問で取り上げましたが、その際に「市民がその意義を感じる記念事業を実施してほしい」旨を提言しました。

(裏面に続く)

実施する事業はアクションプランで示されましたが、限りある財源をいかに有効に活用し、より多くの市民が「記念事業を実施して良かった」と感じられる内容になるよう、詳細を詰めていってほしいと思います。

## ■オリンピック・パラリンピック

…7年前の2013年9月に2020年の夏季オリンピックとパラリンピックが東京で開催されることが決定した時は、ずいぶんと先の話のように感じていたのですが、ついにその年が訪れました。昨年はラグビーワールドカップが日本で開催され、大きな盛り上がりを見せ、多くの人に感動をもたらしましたが、開催前はラグビー人気は今一つの日本での開催が盛り上がるかどうか懸念しているといった声もありました。

…東京オリンピック・パラリンピックに関しても、1964年に開催された東京オリンピック大会の時と比較すると盛り上がりには欠けている感もありますが、ラグビーワールドカップと同様に、開催されれば大きな盛り上がりを見せるのではないかと思います。

…とはいえ、私は東大和市議会議員という立場から考えると、東京オリンピック・パラリンピックが東大和市にどのような好影響をもたらすかということが気になるところです。

…東大和市は昨年の11月に「東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた東大和市アクションプラン」を改訂し、今年度のオリンピック・パラリンピック開催に向け事業内容をアップデートしています。

### ◇アクションプランの5つの取組方針

#### 【次世代を担う人材育成】

- ・子ども達を対象とした大会開催気運醸成の取組
- ・オリ・パラ教育推進校事業
- ・スポーツ及び障害者スポーツ事業の実施

#### 【スポーツ及び障害者スポーツの普及・啓発と健康増進】

- ・スポーツ及び障害者スポーツ事業の実施
- ・健康増進事業の実施
- ・体育施設等のバリアフリー化等

#### 【東京2020大会開催への協力と気運醸成】

- ・大会を支えるボランティア育成
- ・オリ・パラ教育推進校事業
- ・大会開催気運醸成の取組実施や啓発品の掲出

#### 【文化振興及び国際交流の推進と平和意識の高揚】

- ・文化振興事業の実施
- ・国際交流事業の実施
- ・平和事業の実施

#### 【観光及び産業の振興と多言語対応】

- ・観光及び産業に関する事業の実施
- ・観光及び産業に関する対外的な情報発信
- ・観光ボランティアの育成
- ・公共施設、市内の表示、案内板及び標識の多言語化の検討及び実施

## ■聖火リレーのコースは

…世界中の一流スポーツ選手と観客が訪れるこの機会を多くの自治体がスポーツ普及やグローバル化の推進、地域の活性化、観光振興等に対し好機と捉え、東京都内だけではなく日本全国の自治体が参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図るために「ホストタウン」として登録。その数は昨年末(12月27日現在)で405件となっています。

…ホストタウンというと選手団の事前練習のキャンプ地となるイメージが強いですが、宿泊施設や運動場などの施設がなくても文化交流などを目的としてホストタウンに名乗りをあげることも可能です。

…多摩26市でも14市がホストタウンとして登録していますが、残念ながら東大和市はホストタウンに登録していません。(八王子市：アメリカ、立川市：ベラルーシ、武蔵野市：ルーマニア、青梅市：ドイツ、府中市：オーストリアとオーストラリア、調布市：ザンビア、町田市：南アフリカとインドネシア、日野市：ウクライナ、東村山市：中国、国分寺市：ベトナム、武蔵村山市：モンゴル、多摩市：アイスランド、羽村市：キルギス、西東京市：オランダ)。

…このような中、東大和市は5つの取組方針等をどのように実現するのか少し不安が残ります。一方で、今回、聖火リレーは多摩地域もめぐり、オリンピックでは7月14日(火)、パラリンピックでは8月23日(日)に東大和市でも実施されます。

### 【東大和市内の聖火リレールート】

国立市→国分寺市→小平市→東大和市→東村山市

東大和市のコースは出発地は市役所。ゴールは都立東大和南公園の平和広場



…東大和市民も東京都民。オリンピック・パラリンピックという一生に一度かもしれないこのイベントの意義を肌で感じる機会を持てたらと思います。特に、若者や子ども達に良い刺激となるような場面や機会を東大和市民も得てほしい。

…市制50周年、東京オリ・パラ関連事業が東大和市民の心に残るものとなるよう、市は事業内容をよく考えて実施すべきです。

市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート。駅前配布するレポートは毎回、最新号です。

### 【プロフィール】「私たちの身近にある市政、市議会。伝えることがスタートだと思います。」

1970年 東京都北区生まれ。父の転勤で1歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギっ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。卒業後は群馬の山あいの小学校で臨時教諭として担任を2年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元氣印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。『学校』の外の一般社会で挑戦しようとベンチャー企業の(株)シートゥーネットワーク(※スーパーマーケットを経営。店頭公開から一部上場、外資系企業に転換)に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となる。月刊誌『日経WOMAN』のベンチャー企業で活躍する女性特集で取り上げられる。その後、人材開発部長を拝命。『人を活かす』経営を学ぶため一念発起しカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後は、不動産投資会社にて企画業務、税理士対応、広報、社員研修、組織活性化などに従事。2011年4月、初当選。現在3期目。顔の見える議員として、日々奮闘中。



東大和市 市議会議員  
和地 ひとみ

### ■ 連絡先

和地 ひとみ事務所  
✉ wachi\_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp  
〒207-0005 東大和市高木3-274-2-102

HP: <http://www.wachi1103.jp>

【電話・FAX】 042-516-8546